

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

- ・地域ネットワーク強化を志向した行政型アウトリーチを精神保健福祉センターで実施している。
- ・ピアサポーターが地域に根付いてきている。
- ・県の協議の場について、自立支援協議会との連携体制があり身体・知的も含めた検討ができています。
- ・震災により精神科診療機能が低下する中での訪問型支援の基盤、マッチング事業(転退院調整)の経験

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
県と圏域・市町村の協議の場の連動	各圏域の共通の困難ケースを分析し、県の協議の場で共有した。	各圏域レベル、県レベルで取り組むことの整理ができた。
高齢・介護分野との連携	県内の全ての圏域で「高齢・介護とのつながり」をテーマとしたネットワーク強化のための研修会を実施した。	精神保健担当者と介護・高齢の担当者が一堂に会し共通のテーマを学んだことで、顔の見える関係構築につながった。
ピアサポーターの活用	病院でのピアサポーターの普及啓発の実施、ピアサポーターと一緒に研修会や交流会を企画した。	医療機関や長期入院患者の地域移行の理解促進につながった。ピアサポーターと支援者のつながり、ピアサポーターの自立につながった。

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①圏域ごとの協議の実施と県の課題整理	圏域すべて、県で3回	圏域すべて、県で3回	課題整理、解決に向けた取組の方向性の共有
②各圏域ごとの介護・高齢の研修会の開催	6	6	障がいと介護・高齢分野の連携促進
③ピアサポーターの研修会の開催	0	1	ピアサポーターの活動の場の拡大、普及啓発

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。